

板坂則子教授 履歴

【学歴】

- 一九七四年三月 お茶の水女子大学文教育学部国文科 卒業
- 一九七七年三月 東京大学大学院人文科学研究科修士課程 卒業
- 一九八〇年三月 東京大学大学院人文科学研究科博士課程 満期退学
- 一九八〇年四月 群馬大学教育学部 専任講師
- 一九八三年八月 同 助教授
- 一九九二年四月 専修大学文学部 教授

【学位】

- 二〇一〇年九月九日 博士（文学） 東京大学

【所属学会】

- 日本近世文学会／国際浮世絵学会／俳文学会／歌舞伎学会／デジタルアーカイブ学会
- EJJS (The European Association for Japanese Studies) ／AAS (The association for asian studies)

【主要業績】

一 著書

(単書)

『馬琴草双紙集』(叢書江戸文学)

(国書刊行会、一九九四)

『椿説弓張月 前編』

(笠間書院、一九九六)

『日本文学研究論文集成22 馬琴』

(若草書房、二〇〇〇) 編

『曲亭馬琴の世界 戯作とその周縁』

(笠間書院、二〇一〇)

『江戸時代恋愛事情 若衆の恋 町娘の恋』

(朝日新聞出版(朝日選書)、二〇一七)

『戯作と読本』

(武蔵野書院、二〇二二刊行予定)

(共著)

『図説 日本の古典・曲亭馬琴』

(集英社、一九八〇、一九八九再刊)

『東京大学所蔵・草雙紙目録 初編』

(日本書誌学大系67-1) (青裳堂、一九九三)

『東京大学所蔵・草雙紙目録 二編』

(日本書誌学大系67-2) (青裳堂、一九九五)

『東京大学所蔵・草雙紙目録 三編』

(日本書誌学大系67-3) (青裳堂、二〇〇〇)

『東京大学所蔵・草雙紙目録 四編』

(日本書誌学大系67-4) (青裳堂、二〇〇一)

『東京大学所蔵・草雙紙目録 五編』

(日本書誌学大系67-5) (青裳堂、二〇〇一)

『東京大学所蔵・草雙紙目録 補編』

(日本書誌学大系67-6) (青裳堂、二〇〇六)

二 学術論文

- 『八犬伝』—構想よりの接近— (『井浦芳信博士華甲記念論文集・芸能と文学』笠間書院、一九七七)
- 「南総里見八犬伝」の諸板本(上、下) (『近世文芸』29号、31号、一九七八・六、一九七九・九)
- 「稗史七則」発表を巡って (『国語と国文学』657号、一九七八・十一)
- 『水灌論』 (『天文学—資料と研究—』東京堂出版、一九七九)
- 不思議の国の漂流者達—志道軒から夢想兵衛へ— (『解釈と鑑賞』570号、一九七九・八)
- 『南総里見八犬伝』の執筆 (『語学と文学』20号、一九八一・二)
- 翻刻解題 曲亭馬琴の黄表紙—享和元年—(一)『足手書草紙画賦』『買鉛紙鳶野弄話』(『群馬大学教育学部紀要』31卷、一九八二・三)
- 翻刻解題 曲亭馬琴の黄表紙—享和元年—(二)『曲亭—風京伝張』(『群馬大学教育学部紀要』32卷、一九八三・三)
- 近世文学における上州—水滸伝の系譜より— (『群馬の自然と文化』3号、一九八三・三)
- 翻刻解題 曲亭馬琴の黄表紙—享和元年—(三)『父雙宇津宮物語』『五齋浄瑠璃酒肆』(『群馬大学教育学部紀要』33卷、一九八四・三)
- 『日本水滸伝』と『坂東忠義伝』 (『国語と国文学』62卷2号、一九八五・二)
- 翻刻解題 曲亭馬琴の黄表紙—享和元年—(四)『浪速秤華兄芬輪』『教訓跡之祭戲単』(『群馬大学教育学部紀要』34卷、一九八五・三)
- 勸善懲惡 (『国文学』30卷10号、一九八五・九)

翻刻解題 曲亭馬琴の黄表紙—享和元年— (五) 『春之駒象棊行路』 『絵本報讐録』

曲亭馬琴の短編合卷 (一) 『敵討岬幽壑』

〔群馬大学教育学部紀要〕 35巻、一九八六・三)

江戸後期の和菓子—馬琴日記から—

〔群馬大学教育学部紀要〕 36巻、一九八七・三)

曲亭馬琴の短編合卷 (二) 『敵討鼓瀑布』

〔AJIKO NEWS & INFORMATION〕 146、一九八八・二)

資料翻刻「かげろふの」の巻歌仙

〔群馬大学教育学部紀要〕 37巻、一九八八・三)

曲亭馬琴の短編合卷 (三) 『敵討賽八丈』

〔俳文芸〕 32号、一九八八・十二)

曲亭馬琴の短編合卷 (四) 『打也敵野寺鼓草』

〔群馬大学教育学部紀要〕 38巻、一九八九・三)

馬琴の合巻と役者似顔絵

〔群馬大学教育学部紀要〕 39巻、一九八九・八)

曲亭馬琴の短編合卷 (五) 『歌舞伎伝介忠義説話』 前編

〔叢書江戸文庫24〕 月報、国書刊行会、一九九〇・七)

馬琴合巻の役者指定に於ける画師のかかわり—現存稿本から—

〔群馬大学教育学部紀要〕 40巻、一九九〇・七)

馬琴稿本をめぐる— (附) 南総里見八犬伝稿本目録—

〔語学と文学〕 27号、一九九一・三)

『占夢南柯後記』 稿本雑感

〔読本研究〕 第五輯下套、一九九一・九)

曲亭馬琴の短編合卷 (六) 『歌舞伎伝介忠義説話』 後編

〔書誌学月報〕 48号、一九九二・二)

古典文学史年表 (近世)

〔群馬大学教育学部紀要〕 41巻、一九九二・三)

曲亭馬琴の短編合卷 (七) 『姥桜女清玄』 前編

〔別冊国文学〕 No.43 「古典文学史必携」、一九九二・七)

化政期合巻の世界

〔専修国文〕 52号、一九九三・一)

『巢鴨名産菊乃菜』

〔江戸文学〕 10号、一九九三・四)

〔近世文学論輯〕 (研究叢書一三三)、和泉書院、一九九三)

- 馬琴の短編合巻と読本の趣向について―『八犬伝』『弓張月』ノート― (『読本研究』第七輯上巻、一九九三・九)
- 曲亭馬琴の短編合巻(八)『姥桜女清玄』後編 (『専修国文』54号、一九九四・一)
- 性表現の輪郭― 艶本えほんと人情本― (『日本の美学』21号、一九九四・七)
- 馬琴合巻における役者似顔絵―豊国「古人役者写」紹介― (『浮世絵芸術』112号、一九九四・七)
- 曲亭馬琴の短編合巻(九)―『松之月新刀明鑑』前編― (『専修国文』56号、一九九五・一)
- 曲亭馬琴の短編合巻(十)―『松之月新刀明鑑』後編― (『専修国文』57号、一九九五・九)
- 挿絵 (『読本研究』第九輯、一九九五・十)
- 曲亭馬琴の短編合巻(十一)―『相馬内裏後雜棚』前編― (『専修国文』59号、一九九六・八)
- 『占夢南柯後記』の成立 (『読本研究』第十輯、一九九六・十一)
- 曲亭馬琴の短編合巻(十二)―『相馬内裏後雜棚』後編― (『専修国文』60号、一九九七・一)
- 『占夢南柯後記』稿本挿絵より―馬琴と北齋― (『近世文学俯瞰』汲古書院、一九九七)
- 編年体古典文学史1300年史―1801～1830 (『国文学』臨時増刊号42巻10号、一九九七・八)
- 江戸の情報社会―現代のインターネット社会とパラレルに (『国文学』42・11、一九九七・九)
- 書誌の窓から―(一)― (『専修人文論集』62号、一九九八・三)
- 曲亭馬琴研究文献目録(一九八八～一九九七) (『専修国文』64号、一九九八・一)
- 『小兒やしなひ草』 (『専修人文論集』65号、一九九九・十)
- 曲亭馬琴の短編合巻(十三)―『鳥籠山鸚鵡助剣』前編― (『専修国文』66号、二〇〇〇・一)
- 疱瘡本小考―『絵本子供あそび』と『小兒やしなひ草』― (『江戸の文事』ぺりかん社、二〇〇〇) 共同執筆

書誌の窓から―(二)―『比翠紋目黒色揚』と『佐野渡怨敵懸橋』について

(『専修人文論集』67号、二〇〇〇・十一)

曲亭馬琴の短編合巻(十四)―『鳥籠山鸚鵡助剣』後編―

(『専修国文』68号、二〇〇一・一)

曲亭馬琴―不幸な私生活を越えて

(『国文学』解釈と鑑賞』66・9、二〇〇一・九)

草稿にみる馬琴の創作方法

(『草稿・テキスト研究所 第2回シンポジウム 報告集2』、二〇〇二・三)

『しんざくいろはたんか』考

(『日本學研究』(Japanese Studies vol.13 (韓国)、二〇〇三・十)

日本文学文化についてのインターネット利用の国際間の共同授業(『IT活用教育法研究』8号、二〇〇五・十一)

草双紙の読者―表象としての読書する女性―

(『国語と国文学』83巻5号(990号)、二〇〇六・一)

国語国文学会の展望―近世小説(後期)

(『国語と国文学』84巻5号(1000号)、二〇〇七・五)

新出 奈良絵巻『相生の松』

(『専修国文』84号、二〇〇九・一) 共同執筆

楚満人草双紙放

(『国語と国文学』86巻8号(1029号)、二〇〇九・八)

『南総里見八犬伝』稿本に見る挿絵画工

(『日本のことばと文化―日本と中国の日本文化研究の接点―』漢水社、二〇〇九)

The Women Reader as Symbol : Changes in Images of the Women Reader in Ukiyo-e

(“The Female as Subject Reading and Writing in Early Modern Japan”、

Center for Japanese Studies The University of Michigan (USA) 11010)

馬琴の描く女性像

(『東アジアの文学・語学・文化と女性』武蔵野書院、二〇一四)

『椿説弓張月』の琉球―馬琴読本における怪異と異界―

(『読本研究新集』第6集、二〇一四・六)

春画の中の若衆と娘―交錯する性

(『別冊太陽「錦絵春画」』、二〇一五・九)

一九『文しなん』と陽起山人『文のはやし』(附 往来部分翻刻)

(『専修国文』97号、二〇一五・九)

江戸期の養生法と川端康成『眠れる美女』、ガブリエル ガルシア マルケス『わが哀しき娼婦たちの思い出』

(“*Bunron Zeitschrift für literaturwissenschaftliche Japanforschung*” No.3 (ドイン)、二〇一六・五)

艶書往来「文のはやし」考

(『近世文芸 研究と評論』90号、二〇一六・六)

馬琴の「隠微」とは何だったのか

(『古典文学の常識を疑う』勉誠出版、二〇一七、

曲亭馬琴の短編合巻(十五)『代夜待白女辻占』(上册)

(『専修人文論集』103号、二〇一八・十一)

曲亭馬琴の短編合巻(十六)『代夜待白女辻占』(中册)

(『専修人文論集』104号、二〇一九・三)

曲亭馬琴の短編合巻(十七)『代夜待白女辻占』(下册)

(『専修人文論集』105号、二〇一九・十一)

Upholding the Household : Bakin's Daughter-in-Law and Her Diary

(“*Women and Networks in Nineteenth*

Century Japan” *Michigan Monograph in Japanese Studies* (USA)、110110)

三 その他

『和文古典Ⅳ ―近世文学の世界―』

(放送大学教育振興会、一九八八) 分担執筆

『近世日本文学』

(放送大学教育振興会、一九九二) 分担執筆

『近世の日本文学』

(放送大学教育振興会、一九九八) 分担執筆

『改訂版 近世の日本文学』

(放送大学教育振興会、二〇〇三) 分担執筆

馬琴合巻における似顔絵使用役者一覧

(『近世後期戯作―主に化政期合巻―に用いられた役者似顔絵の研究』、

一九九〇～九一年度科学研究費補助金（総合A）研究成果報告書、一九九二・三

馬琴の生涯と環境―路女の実像を見つめる―

（公開講座『文学史と房総』Ⅲ―南総里見八犬伝の世界（城西国際大学）、二〇〇四・九）

『わたしの古典21・南総里見八犬伝』

（集英社、一九八六年版、一九九六文庫化）分担執筆

『わたしの古典19・雨月物語』

（集英社、一九八七年版、一九九六文庫化）分担執筆

『雨月物語』の男と女

（新国立劇場公演『新・雨月物語』解説、一九九二・一）

物語の光と闇

（曲亭馬琴『南総里見八犬伝』（週刊朝日百科『世界の文学』88）、二〇〇一・四）

『国際間のネットワーク利用共同授業』申請責任者

（文部科学省、平成15年度「サイバーキャンパス整備事業」選定（二〇〇三～二〇〇六）

『インターネット利用の国際間の共同授業』International Collaborative Class on Japanese Literature and Culture

（私立大学情報教育協会、情報教育方法研究会運営委員会、第一次発表二〇〇五・七、第二次発表二〇〇五・九）

「奨励賞」受賞

インターネット会議システムを利用した国際間の比較文学特殊講義授業（ITを活用した授業モデル）

（『大学教育への提言 ファカルティ・デベロップメントとIT活用 2006年度』、二〇〇六、

※授業コンテンツを付属CDに収録）

『インターネットを用いた国際間授業』（2008～2010年度教育・学習方法等改善支援）、二〇〇八採用決定

馬琴年表

（『曲亭馬琴日記 別巻』中央公論新社、二〇一〇）

『まんがで読む 南総里見八犬伝』

（学研まんが『日本の古典』学研教育出版、二〇一五）監修

『まんがで読む 四谷怪談 雨月物語』

(学研まんが『日本の古典』学研教育出版、二〇一五) 監修

『人物で探る! 日本の古典文学 松尾芭蕉と曲亭馬琴』

(国土社、二〇一九) 監修

対談「北斎、40代のビッグバン 読本挿絵の知られざる幻想宇宙」

(辻 惟雄氏との対談) (『芸術新潮』、二〇一六・十二)

日曜美術館「シリーズ北斎めくるめく読本挿絵の世界」

(NHK、二〇一九・二・十七放映) 解説

オペラ『八犬伝』台本製作

(作曲…仙道作三、初演二〇〇六・一・二八、二九、於 北とびあホール) 板坂ゼミ生と共同執筆、監修